

中国

瓮福化学肥料工場建設事業(1)(2)



本事業により完成した瓮福化学肥料工場

[借款概要]

承諾額/実行額	12,286百万円 / 12,190百万円
借款契約調印	1993年8月 / 1995年1月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2000年10月 / 2001年2月

[事業概要]

年間生産量80万トン規模の重過燐酸石灰(TSP)肥料工場を建設することにより、中国全体の燐酸系化学肥料需要の増加に対処し、食糧生産性の向上に寄与するもの。

[評価結果]

本事業は、中国の第8次5ヵ年計画（1991～1995年）において建設された全国10工場の化学肥料工場（うち6工場が円借款対象）の一部をなす優先事業である。

本事業が完成した1999年のTSPの生産実績は、3.3%と低調であった。TSPは燐酸のみの肥料であり市場性が低いことから、実施機関である瓮福燐化工は、2000年初にTSP生産設備二系列のうち一系列を燐酸に窒素を含む二燐安(DAP)製造設備に変換し、2000年、2001年それぞれ年間10万トン超の生産を行っている。

中国全体の燐酸系肥料は、依然として約4割を輸入に頼っているが、本事業の転換設備によるDAPの生産は開始されたばかりであり、燐酸系肥料の需要への対応は未だ限定的である。瓮福燐化工としては、中国全体のDAP輸入量は増加傾向にあり、その市場性は高いとの判断から、2001年中に残り一系列もDAP生産設備に転換することになっている。今後ともDAPの製造技術向上や販売先開拓等の経営努力が望まれる。